



安全な米作りと工夫

わたしは、「安全な米作りと工夫」について調べました。

調べた方法は、インターネットで調べました。調べた結果は、こうのとりのお米と言う米づくりがあるという事が分かりました。その内容は、こうのとりと共生するお米づくりでは、こうのと

安全な米作りと工夫(2)

- りのえさを増やすための田の管理をしながらお米づくりをしている事が分かりました。
- その他の動物にとっても安全な環境を作るために、私たちは除草剤や殺虫剤を出来るだけ使わない工夫をしているそうです。
- そのほかにも、虫や小動物を増やす工夫、

安全な米作りと工夫(3)

- 稲そのものの生命力を高める工夫
- などいろいろな工夫をしているそうです。
- 安全な米作りは、芽が出てきたら、ビニールハウスの中で、水や肥料を与え、温度などに気を付けながら苗を育てているそうです。稲を病気や害虫からまもり、丈夫に育つように毎日田んぼの雑草を取り除いたり、水の量を

安全な米作りと工夫(4)

調節したり、ときどき肥料をまいたりもします。他に調べたことは、おいしい米作りの秘密です。まず最初に、良い米、悪い米があります。悪い米は、ていねいに育てていても必ずあるものです。まあ、それはしょうがないのですが。けんこうな苗を育てることは、稲作りにとって大切



安全な米作りと工夫(5)

- な作業です。特に冷害を受けやすい東北地方では、生育期間が短いだけに、悪い苗を田植えすると、活着(根つきのこと)が遅れ、初めの体をつくる分けつの期間が短くなったり、穂の出る時期が遅くなったりして、収穫や品質を落とすこととなります。苗を育てるには、温度や水の管理に十分注意して、軟弱な苗



安全な米作りと工夫(6)

- にならないように中身の充実した太くてづんぐりした苗を育てるようにします。これで私が調べたことは全部です。私は米作りは大変だと思いました。いろいろな動物と協力して米作りをしているんだと思いました。もっと米作りをよく知りたいと思いました。

